

令和4年度 事業報告について

令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

I 概 要

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、経済活動は停滞を続けました。しかしながら、現在新型コロナウイルス感染は、徐々に収束に向かい、マスク着脱の考え方も変更するなど、少しずつではありますが、通常の日常生活に戻りつつあります。

このような状況の中、当センターでは「シルバー世代の活躍」と「地域貢献」を第一に考え、事業計画に基づき事業を展開し、特に「会員数の増強」「就業機会の拡大」「安全・適正就業の推進」に力を入れ取り組んでまいりました。

事業実績において、会員数303名(前年度比-0.9%)、請負契約額175,974,045円(前年度比-6%)、労働者派遣事業(シルバー派遣)契約額16,947,128円(前年度比+101%)となりました。令和4年度実績では、請負契約・労働者派遣事業合わせて192,921,173円(前年度比-1.5%)と前年度を下回る実績となりましたが、シルバー人材センターとして重点を置く労働者派遣事業(シルバー派遣)において、前年度比で、契約額101%増、受注件数107%増、就業延人数167%増となりました。これは派遣事業の拡大及び契約内容の精査により、請負契約から派遣契約へ契約を変更した成果の表れと思われまます。また新型コロナウイルス感染拡大という厳しい状況の中でも、会員一人一人が感染症防止対策を取りながらそれぞれの就業先で真摯に仕事に取り組んできた成果と思われまます。

また、新型コロナウイルス感染拡大後、各種事業の開催を見合わせていましたが、「ワックス清掃講習会」「認知症講演会」を開催することができました。次年度以降、更に講習会・イベント等を開催し、シルバー事業を益々発展させて行きたいと考えております。

ここに、令和4年度事業計画に基づいた事業が終了しましたので、改めて関係機関並びに市民の皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます事業報告といたします。

(1) 安全・適正就業の徹底

会員の就業中の事故防止のため、安全・適正就業推進委員会を中心に6月～10月の期間に安全巡回を実施し、就業環境及び会員の体調等を確認するとともに会員の安全に対する意識を高めまました。

また、安全・適正就業推進委員会を開催し、傷害事故・賠償事故の事故検証

を行い、事故の再発防止に取り組みました。さらに、会員が安心して就業できるよう、適切かつ適正な契約に基づく就業形態を強化するべく、「適正就業ガイドライン」を活用した就業内容の確認を行いました。

(2) 会員の増強及びセンターの PR

市広報紙、チラシ、ポスターを利用したセンターの PR 活動、また会員一人一人による口コミによる勧誘活動を行いました。入会希望の方には、随時入会説明会を開催し、会員の入会促進を行い、その結果、31 名の新規の会員登録につなげました。今後も継続的に会員数の増加に努めていきたいと思えます。

(3) 就業先の確保及び派遣事業の拡大

会員の方に向け、センターの情報発信として、広報・会員拡大委員会が主体となり「ひまわり通信」を年 4 回発行するとともに、センターPR チラシ「ひだまり」を市広報紙と一緒に配布しました。

また、ホームページの随時更新を行いセンターの最新の情報を発信することで PR に努めました。

請負契約を締結している業務において、「適正就業ガイドライン」に基づき契約内容を精査した結果、5 業務を請負契約から派遣契約に切り替えました。

(4) ボランティア活動の推進

社会貢献の観点から、ボランティア活動として 5 月に市役所前庭松の剪定ボランティア活動では、植木班及び片付け班合わせて 20 名の参加をいただき、また、11 月に「街なか清掃」を開催し、50 名の参加をいただきそれぞれ実施しました。

(5) 講習会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大後、初めての事業として女性活躍委員会を中心に「認知症講演会」を羽生市高齢介護課との共催により、会員の方及び市民の方、合わせて 80 名の参加をいただき盛況のうちに開催されました。また、清掃業務における技術向上のため「ワックス清掃講習会」を開催しました。講師に清掃専門業者を迎え、通常ワックス清掃に従事している 15 名の会員の参加により、参加者は専門的な知識を習得しました。

(6) インボイス制度（適格請求書等保存方式）への対応

2023 年 10 月 1 日から導入されるインボイス制度（適格請求書等保存方式）へ対応するべく、適格請求書発行事業者の登録、併せて税務署主催の説明会に参加するなど制度導入に向け調査研究を行いました。